

分子農学プログラムの 教育における3つのポリシー

1, ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

- ・ グローバルな視野を持ち、21世紀の生命・食糧・環境問題を解決し、産業の発展に貢献するために必要な高度な分子農学に関する知識・技術を修得
- ・ 遺伝情報及び、その発現機構を解析するために必要な最先端の解析技術を修得
- ・ 遺伝情報の解析技術と、その発現制御機構を理解し有用な分子を農林水産分野で活用することにより新しい価値を創造できる能力を修得
- ・ 分子農学に関する多様な場面で実践できる高度なコミュニケーション能力を修得

2, カリキュラム・ポリシー（学修・教育目標を達成するための教育体系）

- ・ 分子農学と光工学の分野横断的な創造的実践力を養成するために、境界・学際領域科目を配置
- ・ 分子農学に関する高度な専門知識を身に付けるための科目を配置
- ・ 分子農学に関する先端解析技術を修得するためにアクティブ・ラーニング型科目を配置
- ・ 留学生の受入の促進及びグローバル化に対応するためにプログラム科目を英語で対応

3, アドミッション・ポリシー（入学者 受入れの方針）

- ・ 分子農学を学修するために必要な分子生物学、遺伝学、生理学などの基礎学力を有する人
- ・ 生命現象を分子レベルで理解するとともに、農学や生命科学の諸課題と分子解析技術について強い関心を持ち、農林水産分野で活用することに挑戦する意欲を持つ人
- ・ 分子農学を通じて地域社会に貢献することに強い関心と意欲を持つ人